

『意見発表会に出ようよ！』の実践

森町立尾内小学校 池田 克己

◆単元のポイント

○社会教育の場を利用する

学校行事の合間に飛び込んでくる社会教育の行事は、どうしても、消極的な取り組みとなったり、一部の児童だけのものになったりします。そこで、逆に意見発表会という場を積極的に利用することにより、学級全体として取り組むことができ、子供が調べたことや考えが学校の中だけにとどまらず、地域の人へ伝えていくことができます。

○児童の視野を広げる

自己の体験的な内容の発表になりがちなものを、普段興味・関心があることを調べ、それを発表するきっかけとします。それにより、一人一人が、新たな発見をすることができます。

○児童の交流の中から

興味ある内容が同じであれば、一緒に協力しながら調べることができます。また、学級内で意見発表を交流できるので、他の児童が調べたことなどについても知ることができます。

○国語との関連

意見発表をするためには、まず意見文を作成する必要があります。そこで、国語の作文単元の「目的に合った材料で」と結びつけての活動とします。この単元では書くことだけが目的ではなく、話すということが重点となります。



◆単元の構想 (11時間扱い)

意見発表会に出ようよ

意見発表会の意義を知ろう (1)

- ・なぜ、意見発表をするのか考える。
- ・意見とは何かを考える。

<支援のめあて>

- ・「意見を発表する」ことの大切さを中心に話し合わせたい。

「目的に合った材料で」を読んで国語のめあてを知る（1）

- ・身の回りの出来事や体験などの中から作文に書きたいことを出し合う。
- ・書きたい材材ごとにグループを作る。

- ・予想される題材を話し合わせたい。

組み立て表を作り、作文の下書きをする（6）

- ・グループごとに資料を調べまとめる。

- ・いろいろな方法で資料を集めさせたい。

作文をもとに発表の練習をする（1）

- ・相手にわかりやすく聞いてもらえるように読む練習をする。

- ・聞く人のことを意識させて練習させたい。

意見発表会をしよう（1）

- ・グループ内で意見発表を行う

- ・発表する視点、聞く視点を明確にさせたい。

本番の意見発表会に出場して（1）

- ・意見発表に参加して、聞いて感じたことを出し合う。

- ・町の意見発表会にだれが出るといいかを考えさせたい。

◆実践するにあたって~~~~~

この実践を成功させるには、まず自分自身の興味・関心のあるテーマをもたせることです。興味・関心のあるテーマなら、子供は積極的に取り組むことができます。

次に、じっくりと調べたり、作文を書いたりする時間を取ります。調べる時間を充分取らなければ、内容として表面的なものが多くなってしまいます。計画の段階でしっかり時間をとる必要があります。

また、子供のテーマに合った資料や情報を的確にアドバイスしていく必要があります。インターネットなどで情報収集することも場合によっては考えられます。